



ほけんだより

令和7年6月30日
若草保育園

ホームページ
QRコード

じめっとした湿度の高い日が続いていますし、これから気温もさらに上がり、疲れが出やすく体調管理の難しい時期となります。過ごしやすい環境作りに配慮し、毎日のお子さまのようすの変化に気を配っていきたいと思います。最近園では、下痢の症状の子が数名見られました。ノロやロタ等の感染性のものや、ひどいと脱水症等につながることもありますので、症状が続く場合には受診をお願いします。

気をつけよう！夏にはやる病気

夏に気をつけたい感染症。代表的な3つについて、主な症状を挙げてみました。気になる症状が見られたら、すぐに病院へ！



ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛み。特にのどは、水ぼうや潰瘍ができるため、かなり痛む（乳児はミルクが飲めないほど）。

プール熱

（咽頭結膜熱）
高熱とのどの痛みのほか、目の痛み・かゆみ・充血など、結膜炎のような症状がでる。



手足口病

手のひらや足の裏、口の中に小さな発しんや水ぼうやができ、熱が出ることも。

排せつ

ぼうこうや排せつをコントロールする機能の発達には、大きな個人差があります。トイレトレーニングは、年齢ではなく発達に合わせて行いましょう。

0歳児 おむつ

1歳ころまでに、排尿の間隔がだんだん長く、一定になっていく
→ おむつ替えのときは、「気持ちいいね」など、快・不快の言葉かけを！

1歳ころ 気づく

おしっこが出る、または出たことに気づくようになる
→ 急にしゃがむ、もじもじするなどの「おしっこサイン」が表れたら、トイレに誘ってみましょう。



2歳ころ 知らせる

ぼうこうの機能が発達し、おしっこを少し我慢できるようになる
→ トイレに行きたいことを、言葉で知らせるようになります。間に合わなくても褒めてあげて。



3歳ころ トイレで

尿意を感じて、自分でトイレへ行けるようになる
→ 排せつ後のおしりのふき方、水を流すこと、着衣、手洗いなどを徐々に練習していきましょう。

歯科健診(6/13)の結果、全員、口腔内の状態は良好でした。

嘱託医健診(6/18)の結果、全員異常なしでした。

お休みされた方は、病院に予約をしてから、書類を持参し、歯科・嘱託医健診を受けに行ってください。